

国語科一年

五月課題プリント課題プリント② 詩について学ぼう

() (組) (番)

一次の詩の種類として適当なものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

二次の①～⑭に使われている表現技法をあとのア～ケより

選び、()に記号で答えなさい。

1. 文体上の種類

① 口語詩 (イ) ② 文語詩 ()

ア 昔の言葉で書かれた文章。
イ 話し言葉で書かれた文章。

2. 形式上の種類

① 自由詩 () ② 定型詩 () ③ 散文詩 ()

ア 普通の文章のように書かれた詩。
イ 音数に一定の決まりがある詩。
ウ 音数に一定の決まりや型がない詩。

3. 内容上の種類

① 叙情詩 () ② 叙景詩 () ③ 叙事詩 ()

ア 作者の心情を中心に書かれた詩。
イ 歴史上の事件や出来事などについて書かれた詩。
ウ 自然の風景や景色などについて書かれた詩。

重要

詩の種類については、「1. 文体上の種類」と「2. 形式上の種類」を組み合わせて、「口語自由詩」、「文語定型詩」などということが多い。

二 次の詩の種類を答えなさい。

① 「すきです」といったら
「しつこい」とさらわれた
あれから (へしつこい) と読んでしまう 漢字
失恋

② 山のあなたの空遠く
「幸」住むと人のいふ。
嘘、われひとと専めゆきて、
涙さしくみかへりきぬ。
山のあなたになほ遠く
「幸」住むと人のいふ。

③ 坂のある風景は、ふしぎに浪漫的で、のすたるぢやの感じをあたえるものだ。坂を見ていると、その風景の向こうに、別の遙かな地平があるように思われる。

④ どんぐりころころ どんぶりこ
小池にはまって さあたいへん
どじょうが出てきて こんにちは
ぼっちゃん一緒に 遊びましょ

③	①
④	②

① 何をしたというんだ、私が。

② まるで綿菓子のような雲が浮かんでいる。

③ ぼく、ドラえもん。

④ 雪がしんしんと降っている。

⑤ 見せてあげよう、ラビユタの雷を。

⑥ さかなさかなさかなさかなを食べると…

⑦ あなたは太陽のようだ。

⑧ あなたはわたしの太陽だ。

⑨ 森の奥の、小さな家。

⑩ イチョウの木もぼうきになった。

⑪ 鹿のような瞳がきらめいている。

⑫ 風が優しく話しかけてくる。

⑬ かべをドンドンとたたく音がする。

⑭ 山が呼んでいる。

⑮ 屋根より高い鯉のぼり。

⑯ 雪のような花びらが舞う。

⑰ プンブン ハチが飛ぶ。

⑱ 人生は旅である。

⑲ ふーっとため息をついた。

⑳ うでをぐいぐいと引っ張る。

ア 直喩	イ 隠喩	ウ 擬人法	エ 反復法
オ 倒置法	カ 体言止め	キ 擬音語	ク 擬態語

一 次の詩の種類として適当なものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

1. 文体上の種類

- ① 口語詩 (イ)
- ② 文語詩 (ア)

ア 昔の言葉で書かれた文章。
イ 話し言葉で書かれた文章。

2. 形式上の種類

- ① 自由詩 (ウ)
- ② 定型詩 (イ)
- ③ 散文詩 (ア)

ア 普通の文章のように書かれた詩。
イ 音数に一定の決まりがある詩。
ウ 音数に一定の決まりや型がない詩。

3. 内容上の種類

- ① 叙情詩 (ア)
- ② 叙景詩 (ウ)
- ③ 叙事詩 (イ)

ア 作者の心情を中心に書かれた詩。
イ 歴史上の事件や出来事などについて書かれた詩。
ウ 自然の風景や景色などについて書かれた詩。

重要

詩の種類については、「1. 文体上の種類」と「2. 形式上の種類」を組み合わせて「口語自由詩」、「文語定型詩」などということが多い。

二 次の詩の種類を答えなさい。

① 「すきです」といったら
「しつこい」とさらわれた
あれから「しつこい」と読んでしまう 漢字
失恋

② 山のあなたの空遠く
「幸」住むと人のいふ。
嘆われひとと尋めゆきて、
涙さしくみかへりさめ。
山のあなたになほ遠く
「幸」住むと人のいふ。

③ 坂のある風景は、ふしぎに浪漫的で、のすたるぢや
の感じをあたえるものだ。坂を見ていると、その風景の
向こうに、別の遙かな地平があるように思われる。

④ どんぐりころころ どんぶりこ
小池にはまって さあたいへん
どじょうが出てきて こんにちは
ぼっちゃん一緒に 遊びましょ

① 口語自由詩	② 文語定型詩
③ 口語散文詩	④ 口語定型詩

三 次の①～⑭に使われている表現技法をあとのア～ケより
選び、() に記号で答えなさい。

- ① 何をしたというんだ、私が。 (オ)
- ② まるで綿菓子のような雲が浮かんでいる。 (ア)
- ③ ぼく、ドラえもん。 (カ)
- ④ 雷がしんしんと降っている。 (ク)
- ⑤ 見せてあげよう、ラビユタの雷を。 (オ)
- ⑥ さかなさかな さかなさかなを食べると… (エ)
- ⑦ あなたは太陽のようだ。 (ア)
- ⑧ あなたはわたしの太陽だ。 (イ)
- ⑨ 森の奥の、小さな家。 (カ)
- ⑩ イチョウの木もほうきになった。 (イ)
- ⑪ 鹿のような瞳がきらめいている。 (ア)
- ⑫ 風が優しく話しかけてくる。 (ウ)
- ⑬ かべをドンドンとたたく音がする。 (キ)
- ⑭ 山が呼んでいる。 (ウ)
- ⑮ 屋根より高い鯉のぼり。 (カ)
- ⑯ 雪のような花びらが舞う。 (ア)
- ⑰ プンブンブン ハチが飛ぶ。 (エ) (キ)
- ⑱ 人生は旅である。 (イ)
- ⑲ ふーっとため息をついた。 (キ)
- ⑳ うでをぐいぐいと引っ張る。 (ク)

ア 直喩	イ 隠喩	ウ 擬人法	エ 反復法
オ 倒置法	カ 体言止め	キ 擬音語	ク 擬態語